

高等学校 校長・准校長 様
支援学校 校長・准校長 様
国語研究会 会員 様

大阪府高等学校国語研究会
理事長 酒井 保典

第2回「国語土曜塾」開催について (講演と交流・情報交換のご案内)

初秋の候、皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、本研究会では教員同士が学び合う機会として「国語土曜塾」を開催しております。昨年度より新型コロナウイルス感染症拡大の影響で従来通りの対面による実施が難しくなっております。そんな中でも日々熱心な実践を継続されている先生方に少しでもお役に立てる機会を設けたいと考え、本研究会ではオンラインによる実施を計画しております。

今年度、第1回国語土曜塾は初のオンライン開催となりましたが、約30名の先生方にご参加をいただき、大変有意義な会となりました。

今回は指導教諭である岡田一心先生のご講演とご参加いただいた先生方の交流会をセットしました。岡田先生からは「生活と授業のつながり」をテーマとしてお話していただきます。また交流会では双方向のやり取りをしながら、先生方の素朴な疑問や日々考えていることを共有する機会としたいと考えております。

今回も先生方のご協力を得て、毎日の授業のヒントを多く得ることのできる実りの多い会になればと思います。授業研究は、豊かな授業づくりに欠かすことのできない根幹です。本研究会は、その活動を確かな方向性を持って続けていきたいと考えています。ご多用の折とは存じますが、貴校の先生方にご紹介頂きますようご配慮の程よろしくお願い申し上げます。

記

- 日時 令和3年10月30日(土) 14:00～16:00
- 実施方法 ビデオ会議システム「Zoom」を使用したオンライン開催
- 時程・内容

13:30～14:00	ログイン受付・動作確認 (この時間内にログインしていただきます)
14:00～14:10	開 会 概要説明 小山 秀樹 (今宮高校)
	司会進行 松浦早紀 (春日丘高校教諭 教職経験7年)
14:10～15:00	講演 「最後のペンギンでもいいかな」 岡田一心 (長尾高校指導教諭)
	私たちの国語教育が大きく変わる、らしい。なぜなら、子どもたちに求められる力が変わるから、らしい。世の中も、変わるとか変わったとか落ち着かない。 けれども、国語の時間の大切さはなんにも変わらない。変化はチャンス、新たな視点を得てこれまでよりパワーアップできるかも。 子どもたちの生活や人生と教材をつなげることで「忘れない学び」と「奪われない力」を手に入れられるように、楽しんで苦勞しています。 新カリキュラムの説明を聞いては不安を覚え、日々の授業ではしばしば脱線という実態報告になりそうなので勉強したい！というより、安心したい人、一緒に何か話しませんか。
15:10～15:55	交流会 「国語の授業こんな風になっています。こんな時、どうしていますか?～オンライン版～」
	些細な悩みも話してみたら、共感してもらえたり、思わぬ解決策を聞けたり、対話することは我々にとってとても大切です。誰かと交流する機会がめっきり減ってしまった今だからこそ、対話しましょう。 先生方には交流を通してオンラインのメリット・デメリットを感じてもらいながら、「観点別評価の実際」「授業のすすめかた」「生徒を引き付けることば」「生徒を集中させる個人的な試み」大きなテーマから小さなテーマまで各学校の状況や今の悩みなど、ざっくばらんに発言していただきながら交流をしていきたいと思っております。 ※ブレイクアウトルーム機能を利用した小グループでの交流を計画しております。ふるってご参加ください。
16:00	閉 会

(裏面に続きます)

